

<p>(A)根拠となる情報収集（確認）情報（23項目+新たな情報）</p> <p>(B)の仮説の根拠 (身体機能、精神心理的) 社会環境的状况</p>	<p>(B)それはもしかしたら○○なのだからかも知れない？</p> <p>(D)につながる仮説</p>	<p>(C) (A)による (B) 仮説の検証結果</p>	<p>(D)社会生活を遂行するのに困っている状態（生活しづらさ）（問題）の表出と社会的必然性の一一致</p>	<p>(E) (D)に対しての状態を解決する目標・結果（意向表出と社会的必然性の一一致）</p>	<p>(F) (A)根拠となる情報収集の要因を探る（なぜ、なぜ？そうになっているのか？） 具体的な目標を検討する。</p>	<p>(G)維持、改善の可能性、悪化の危険性、ケアの必要性</p>

※ (A)問題 根拠とされる本人の希望、家族の要望、左記以外の言語、非言語の情報、医療・介護職からの情報、意見（十分に吟味）

(A) 狭義のニーズ

入浴できない

(A) +(F)広義のニーズ

入浴できないが今までどおりに家で入浴したい